

# 東北地方 1か月予報

(6月16日から7月15日までの天候見通し)

平成19年6月15日  
仙台管区気象台発表

## <特に注意を要する事項>

東北地方では気温の高い状況が続いています。向こう1か月も前半を中心に気温が高い見込みです。

## <予想される向こう1か月の天候>

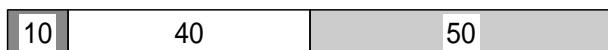
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。  
期間の前半は、東北地方は平年に比べ晴れの日が多いでしょう。その後は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は高い確率が50%です。日照時間は平年並または多い確率がともに40%です。

週別の気温は、1週目は高い確率が60%、2週目は高い確率が50%です。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

[気温] 東北地方



[降水量] 東北地方



[日照時間] 東北地方



低い(少ない)

平年並

高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>

[1週目] 東北地方



[2週目] 東北地方



[3~4週目] 東北地方



低い

平年並

高い

## <予報の対象期間>

1か月 : 6月16日(土) ~ 7月15日(日)  
1週目 : 6月16日(土) ~ 6月22日(金)  
2週目 : 6月23日(土) ~ 6月29日(金)  
3~4週目 : 6月30日(土) ~ 7月13日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は6月22日  
3か月予報: 6月25日(月) 14時

## <参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温( )		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	18.7	94.8	167.8	17.3	18.1	19.5
深浦	19.0	135.5	165.7	17.5	18.4	19.8
むつ	17.2	125.1	143.9	15.9	16.6	18.0
八戸	17.8	120.2	154.2	16.4	17.0	18.5
秋田	20.5	179.0	156.4	19.3	20.0	21.2
盛岡	19.7	150.7	131.1	18.5	19.0	20.3
大船渡	18.9	187.7	131.7	17.6	18.2	19.6
宮古	17.6	146.3	127.4	16.3	16.9	18.4
仙台	19.8	178.9	107.6	18.6	19.1	20.5
石巻	19.2	143.7	126.3	18.0	18.5	19.9
山形	21.0	143.2	131.0	19.8	20.3	21.7
新庄	20.2	189.6	130.0	19.0	19.6	20.9
酒田	20.9	189.4	152.2	19.7	20.3	21.6
福島	21.3	156.4	111.2	20.1	20.5	22.0
若松	21.3	169.3	137.4	20.2	20.6	22.0
白河	19.9	205.5	104.3	18.7	19.1	20.6
小名浜	19.8	168.0	121.6	18.6	19.2	20.4

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5 ~ +0.4	88 ~ 114	90 ~ 109
東北日本海側	-0.4 ~ +0.3	83 ~ 110	91 ~ 106
東北太平洋側	-0.6 ~ +0.4	86 ~ 110	88 ~ 113

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6 ~ +0.5	-0.6 ~ +0.5	-0.6 ~ +0.5
東北日本海側	-0.6 ~ +0.4	-0.5 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.6
東北太平洋側	-0.6 ~ +0.5	-0.7 ~ +0.5	-0.7 ~ +0.5

## <参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成19年6月15日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(6月16日～7月15日)：

期間の前半は、天気は数日の周期で変わり、東北地方は平年に比べ晴れの日が多いでしょう。その後は前線や気圧の谷の影響で、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は高い確率が50%です。

1週目(6月16日～6月22日)：

期間の中頃まで高気圧に覆われておおむね晴れますが、期間の終わりには気圧の谷の影響で曇る見込みです。

平均気温は高い確率が60%です。

2週目(6月23日～6月29日)：

天気は数日の周期で変わるでしょう。一時前線や気圧の谷の影響を受けますが、東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

平均気温は高い確率が50%です。

3～4週目(6月30日～7月13日)：

前線や気圧の谷の影響で、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

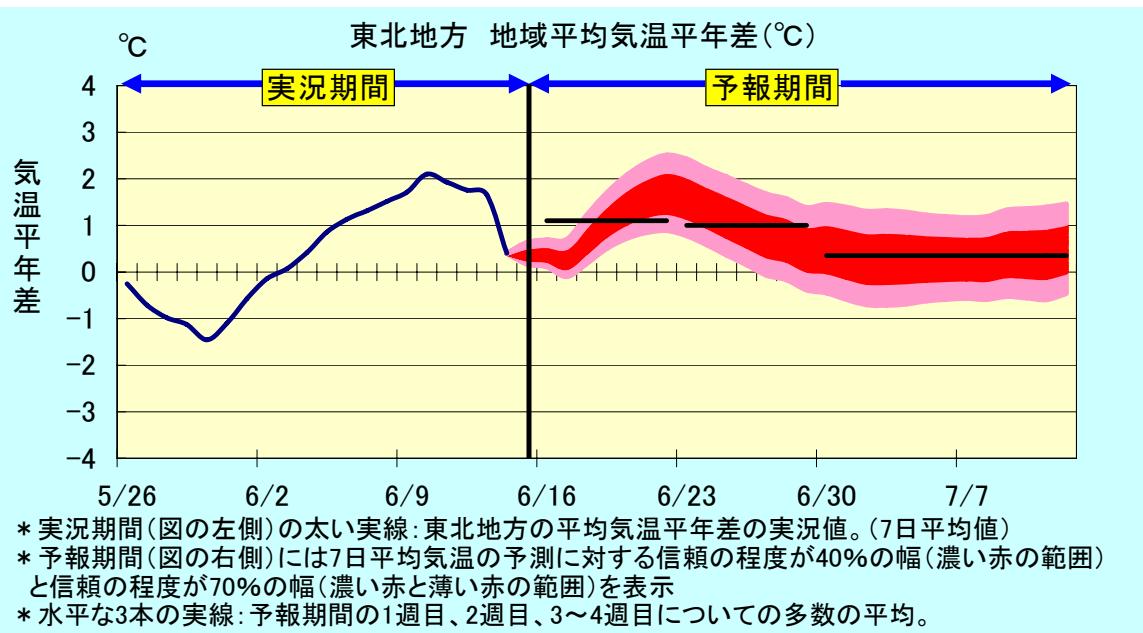
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

## 平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	11.2日	3.0日	2.7日	5.5日
東北太平洋側	9.4日	2.5日	2.1日	4.8日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目、2週目は平年を上回る予想となっており、3～4週目はおおむね平年並の予想となっている。

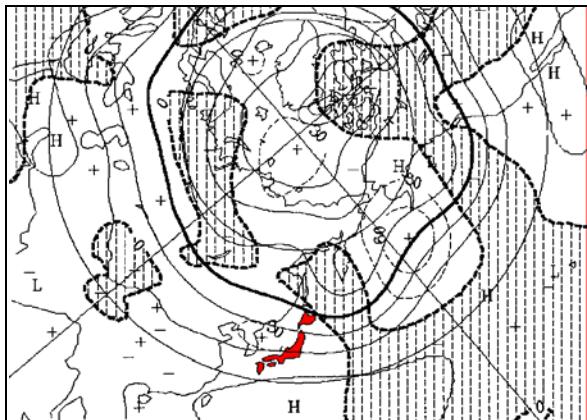


### 3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

**1か月平均**：中国大陸から日本付近にかけて広く正偏差で、気温は高くなりやすい。また、日本付近は東谷傾向で晴れの日が多くなりやすい。一方、太平洋高気圧が日本の南海上で強いため、南からの湿った気流が入りやすく前線活動が活発になる時期もある見込み。オホーツク海付近は負偏差で、オホーツク海高気圧の影響は一時的になる見込み。

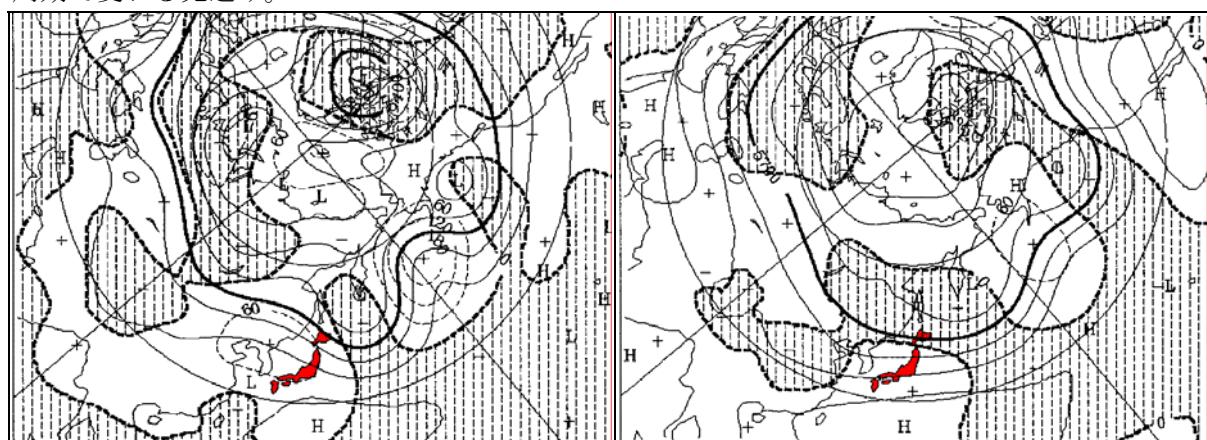
**1週目**：日本は朝鮮半島付近を中心をもつ正偏差に覆われ気温は高くなる見込み。一方、日本の東海上は負偏差であり日本付近は東谷。低気圧の発達はなく晴れの日が多い見込み。

**2週目**：日本付近は引き続き正偏差で気温は高くなる見込み。1週目に比べ東谷は解消傾向。日本付近は偏西風の蛇行は小さく、天気は数日の周期で変わる見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1,2週目と同じ  
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図

2週目平均 500 hPa 予想天気図

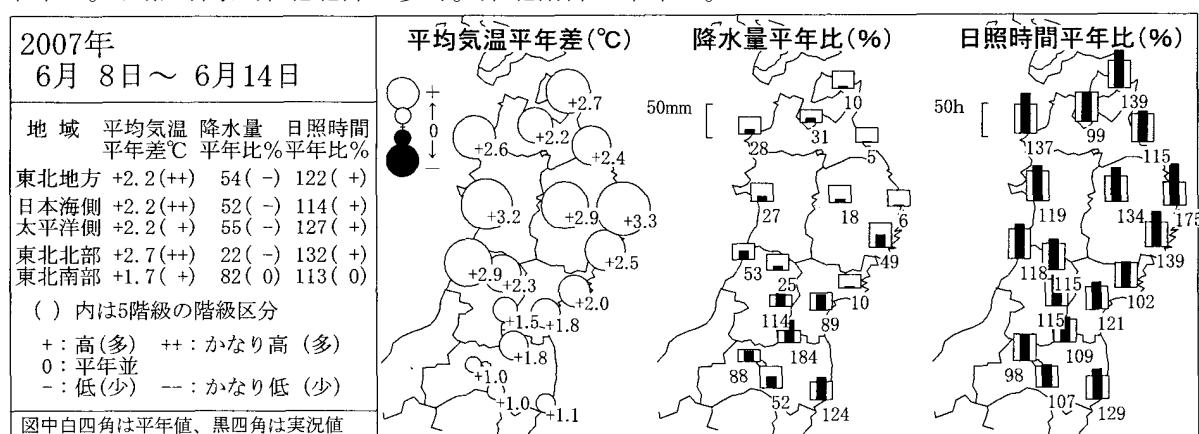
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

### 4. 最近1週間 (6月8日～6月14日) の天候の経過

期間の前半は上空に寒気を伴った気圧の谷の影響により曇りや雨の日が多く、一時雷を伴う激しい雨となったところもあった。その後は高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、14日は低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨となった。

平均気温は東北北部でかなり高く、東北南部で高い。降水量は東北北部で少なく、東北南部で平年並。日照時間は東北北部で多く、東北南部で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）